

# しんあい

## 季刊

2005年(平成17年) 11月20日発行 第58号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人  
**多摩同胞会**

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-366-0080

多摩同胞会のホームページを開設  
しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>  
をご覧ください



「敬老の祝い」アトラクション  
新入職員によるマツケン(!?)サンバ  
に皆様目がクギ付けでした。(泉苑)



### 介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑在宅介護支援センター  
☎ 0120-6540-24  
老後支援 24時間
- あさひ苑在宅介護支援センター  
☎ 0120-2942-24  
福祉にっこり 24時間

- 座談会  
韓国交換研修
- 施設だより  
私の宝もの



韓国交換研修より

# 福祉でつながる韓国と日本の第一歩

◆研修・座談会参加者

- 金 善英 (司会：法人スーパーバイザー)
- 金井 英明 (あさひ苑高齢者在宅サービスセンター次長)
- 遠藤乃理子 (泉苑在宅介護支援センター相談員)
- 比留間 貴 (緑苑在宅介護支援センター相談員)
- 高橋 誠 (岩本町ほほえみプラザ相談員)
- 畑山 恭子 (府中市子ども家庭支援センターたっち相談員)
- 片岡 高博 (白鳥寮相談員)

◆研修日程

|          |                   |
|----------|-------------------|
| 9月26日(月) | 出国・イルソン学院事業等概要説明  |
| 9月27日(火) | シンリン総合社会福祉館見学・懇談会 |
| 9月28日(水) | ヨンドンポ社会福祉館見学・意見交換 |
| 9月29日(木) | ドボン老人ホーム見学        |
| 9月30日(金) | 帰国                |

韓国学校法人一松(イルソン)学院と多摩同胞会との職員交換研修が始まりました。第一回目は法人より6名の職員がソウル市内にあるイルソン学院の施設を訪問しました。日本では地域福祉を含めた社会福祉全般の見直しが始まり、韓国では滞在型施設がこれから急ピッチで建設される予定です。11月には、イルソン学院の職員の方々が来日されます。まず、お互いの施設を知ることによって学ぶことがたくさんあります。

金井

最初に感じたのが、働いている人たちのプライドの高さです。職員全員が社会福祉士という資格を持ち、自信を持って働いていました。韓国社会がどんどん変革発展している中で、すごい情熱でシステムや制度を整備していると思いました。

片岡

福祉に関わる職員、高齢者のボランティアが非常に高い責任感を持って仕事に携わっていることが印象深いです。

高橋

職員がボランティアの動機付けや組織作りのコーディネート・マネジメントをして、自分の存在

韓国の福祉

韓国との職員交換研修を始めることになった理由は、お互いの施設を見学することで、両国の課題が明確になると思ったからです。韓国には社会福祉館という福祉施設があります。日本でいえば特別養護老人ホームを中心として介護サービスが成り立っているのと同じようなもの

です。この社会福祉館で韓国の現状を見るというのが今回の研修の一番の目的でした。まず、今回の研修の感想をお願いします。

意義・価値観を認識させているというところに日本のボランティアとの違いを感じました。

畑山

地域住民のニーズ調査では足を使って一軒一軒調査をしていることがすごいし、本来必要なことだと思いました。声を出した人の話は聞かぬが、声をあげていない人の声はなかなか届きません。回を重ねることで本当のニーズを開けるのかと思います。

金

シンリンという地域は、ソウルの中でも低所得者が集まっている地域です。ボランティアをするということは、ある程度裕福であったり時間があったりということがきっかけになります。シンリンでは高齢者が社会に役立つよう力を引き出している。館長がおっしゃっていたように、社会福祉館と社会福祉士の役割はボランティアと社会福祉全般を「つなぐ」ということ。日本も社会福祉館と特養との違いはあるものの「つなぐ」ということが介護の専門職の位置づけとして感じています。

これからの介護予防

遠藤

日本では、福祉という介護を必要とする人たちを対象とするという意識がある。韓国では社会福祉士がボランティアやそこで働いている人たちのコーディネートをしている。地域全部が自分たちの対象で、その中で必要な人に支援をするという見方をしているのが日本と違うと感じました。ボランティアは自分たちの組織を作っているというところもあり、その中でいろいろ工夫をし、自分たちの情報を吸い上げられる場もある。運営を任されているということ意識がかなり違うと感じました。

職員だから責任があるとか、ボランティアだから責任がないとか、そういうことを抜きに生き生きと働いていたと思いました。ヨンドンポは高齢者対象の施設で、元気な方の余暇活動が多かったと思うのが良かったです。

比留間

ヨンドンポでは、敬老堂でサークルやお年寄り向けの活動を支援していました。日本で言うところの介護予防がそれに当てはまると思います。今までは介護を必要としている人に対してサービスを提供してきましたが、介護が必要になる前の元気な方たちに視点を向けることに自分たちの力が必要なかと疑問でしたが、韓国に行ったことで元気なお年寄りに対してのアプローチも大切だと感じました。

金

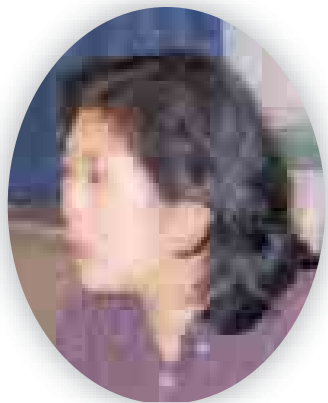
要介護高齢者のケアはもちろん大変なのですが、社会全体で見ると元気な高齢者がより多いのです。元気な人をメインにすると、今度は介護が必要な人たちが阻害されることもあり得ます。区別せずに高齢者にはどういった援助が必要かという配分の問題だと思っています。日本の社会の課題をどのように解決するかは、違う国でやっていることをヒントにすることができると思います。

金井

地域支援の拠点を作っていくことだと思いますが、サテライトといっても、対応の仕方も難しい。

金

高齢者の生活の実態に近づいていないまま制度が変わっていくことが、一番の問題です。社会が先か、制度が先かという問題もありますが、時に



金さん  
この研修の立役者。コーディネーター兼通訳でした。



金井さん(団長)  
韓国のパワーに圧倒されっぱなしでした。



遠藤さん(副団長)  
会計も見学も飲酒も、冷静でした。







### 韓国(大韓民国)のプロフィール

面積：9万9274m<sup>2</sup> (日本の約1/4)  
人口：4819万人  
首都：ソウル  
ソウル市の人口：1031万人  
韓国の高齢化率：9.1% (4308万人)



片岡さん  
児童だけでなく、高齢者支援の見聞も大いに広げました。



畑山さん  
子育て支援相談員として自らの方向性を再認識しました。



高橋さん  
韓国語の習得に意欲的。自己紹介も韓国語でした。



比留間さん  
介護予防と在宅支援のヒントと意欲を持ち帰りました。

は制度が先にあり、そこから中身を固めていくところがあります。高齢者の実態と制度があわなないであれば、高齢者の実態をどのように制度に反映させればよいかということも、ひとつ課題になるのではないのでしょうか。

**金井** 入浴サービスに救急車を利用している場面がありました。制度が固まってきたら、救急車を利用することに議論が出てくるだろう。でも、必要だから呼ぼうという、やっている人たちのパワーを感じました。それが形になり、制度になっている。気持ちがあつて制度を変えたいという形がすごい。

**金** 救急車を呼んでいた一番の理由は、看護職が足りないからです。ポイント、公的サービスの使い方と、何が問題かということをちゃんとアピールすること。何が必要か確認するときに、介護職からの視点ではなく、高齢者からの視点で見ることが大切です。

**片岡** シンリンの対案学校(不登校の子どものための教室)には手品師の先生が来て教えていました。母子生活支援施設の職員は、便利屋さんの資質を求められるので、あの手品師の役回りも求められるところがあります。プログラムのなかには、あのよな先生を呼んで、子供たちにやってみてもらったほうがひとつの形になる。そういう柔軟性は韓国のサービスにはあると思いました。

**介護の専門性**  
**金** ヨンドンポのデイサービスでは折り紙の先生のプログラムがありました。これで、職員は介護に専念できます。介護職員の専門性を高めるシステムをどう作るかはとても大事な課題だと思います。  
**比留間** デイサービスでは、職員だけではだんだんプログラムの幅も狭くなるし、難しくなってくる。

**在宅支援センターが高齢者の生活の中で相談するスペースとして根付けば、調査に行かなくても情報を収集できるようになる。**  
**畑山** スタッフが何かを作るのではなく、利用者の中からその声を吸い上げる。それを利用者自身にやっていただくというのが広場の目標。まだそこまではいっていない中で、少しずつ声が出てきているのをうまく吸い上げるのが私たちの役割だというのは強く感じます。

**今回の研修で得たもの**  
**金** これからのそれぞれの仕事についての抱負があればどうぞ。  
**金井** 今まで仕事をしながらも気がつかなかったことがまだまだあります。地域から求められていることはたくさんある。

**片岡** 児童、高齢者という区別をしていましたが、多摩同胞会の高齢者の支援には魅力的な空間やサービスがあることを知りました。職員が自分達の仕事はすばらしいんだという動機付けができると思います。  
**高橋** 韓国は少ない職員体制の中で一人一人が力を発揮していた。日本は多職種ですので、もっと協働できるのではないかと感じました。  
**畑山** ひとつの建物で障害者、児童、高齢者の相談を受け付けていることがすばらしいと思った。ここに行けばなんでも相談できるという場を作りたい。

**比留間** 介護予防に取り組んでいます。自信を喪失していました。今回の研修で、もっと自信を持っていいんだとやる気ができました。いろいろな提案をして行きたい。  
**遠藤** 支援センターの存在をもっとアピールしたいが

外からの力を借りてプログラムの内容を充実していくのも一案。狭い中でやっていくよりは広いところでやってみよう。そういう考えはあったものの、なかなかそれができないのが実情です。

**金** 介護職員が介護に専念できるようなサポートとして社会が動いてくれるととてもいい。資源は日本のほうがたくさんあるので、専門的な力が保護されるシステムがあればよりよいのではないかと思います。  
**比留間** 社会貢献の考え方も日本とはかなり違いますね。

**金** 100人に声をかけても、100人が出てくることはまず考えられない。1000人のうち1人だけでも、意識が芽生えてくることで広がってくる。あまっていること、不足していることのモザイクを、コーディネートするのが専門職の役割。そして、それが社会の中の「分け合う」ということではないかと思っています。

**畑山** ファミリーサポートセンターは、子育てが必要だと子育てができる人とをコーディネートする仕事です。支援してくださる提供会員がなかなか集まらないのですが、少しずつでも増えていけばいいと思います。

**金** ヨンドンポの敬老堂はお年寄りが日々の話し合いをしたりするし、何か食べ物を作ったらそこに持って行ってみんなで食べたりもする。そこに社会福祉館の社会福祉士が行って介護や町の情報を流して、高齢者福祉のネットワークを作っている。  
「たっち」もスペースがあり、そこにみんなが集まるということで同じようなイメージです。集まることで気づくことがあるし、ニーズが集まる。

なかなか思うように行かない。  
元気な方にも社会資源としての支援センターの存在を知ってもらえるよう地道に活動して行こうと思います。  
**金** 韓国から来日される方々に何をみてもらいたいですか。  
**畑山** 「たっち」はひろばでの取組ですね。  
**高橋** 韓国にはないグループホーム、ケアハウス是非ご覧いただきたい。

**片岡** 多摩同胞会の原点としての母子生活支援施設を運営している意義ですね。  
**比留間** ボランティアが運営する緑苑の喫茶室を是非見てもらいたい。

スウェーデンやある有料老人ホームなどは日中と夜間が違う職員体制ですが、多摩同胞会は24時間同じ職員が高齢者の生活を見ています。私はそれが介護のプロだと思います。  
**遠藤** 大きなデイルームや特養で汗水流して働いている職員の表情や実態を見てもらいたいと思います。誇りをもてるのは24時間滞在施設の高齢者の表情だと思えます。どのようなサービスでこのような穏やかな表情ができるのだろうか、日本の介護職の専門性をみせてあげたい。建物の作り方にも長年のノウハウが積み重ねられているし、これも専門性です。

**金井** 私はすべて見てもらいたい。そしてたくさん驚いてもらいたい。これからも研修が続く限りお互いに刺激を与え合いたいと思います。  
**金** 厳しいスケジュールでしたがみなさん成果のある研修になったようです。お疲れ様でした。

# 韓国交換研修アルバム



配食サービスのおかず。  
キムチ、ナムル、プルコギ等々。



納豆チゲの匂いが充満している  
福祉館の食堂。



敬老堂  
韓国版地域デイサービス。でも基本は  
住民自治です。



配食用お弁当入れ。  
保温バッグです。



インサ洞にある老舗の喫茶店で休憩。



調理から配膳まで、配食サービスの主  
力はボランティア。



どんなメニューにも、必ず  
キムチが付きます。



豊かな食文化をもつ韓国。  
朝からチゲです。



委員長、館長はじめみなさんはと  
っても素敵な方々でした。

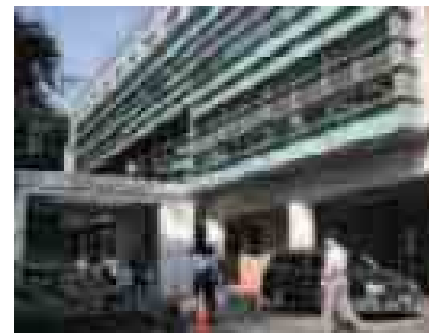


来年の交換研修が楽しみです。

11月7日から11日の間、イルソン学院のみなさんが見えになり、法人各施設を見学されました。  
泉苑では夜勤業務、しらとりではトワイライトの時間まで残られ、精力的に研修されていたのが印象的でした。  
日本の施設サービスの多様さ、施設整備の水準の高さには、みなさん驚かれました。  
反面、どこの施設も同じ規格であり、もっと柔軟性があるとい。児童、高齢者のサービスの相互活用の工夫ができないだろうかというご意見もいただきました。



**速報!**



ドボン実費療養院  
韓国ではまだ少ない入所施設。



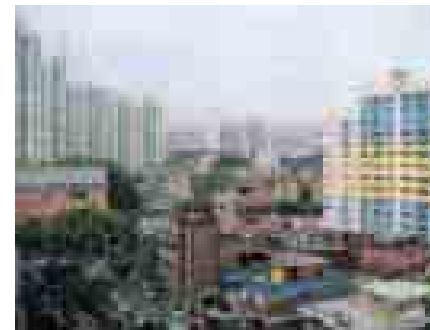
ヨンドンボ老人総合福祉館  
韓国では先進的な、老人福祉に的を絞った施設。



シンリン総合社会福祉館  
子どもからお年寄りまで、地域福祉の核です。



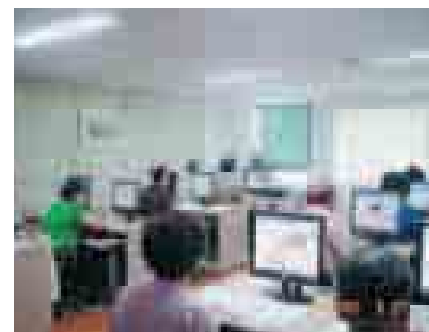
みなさん、それは手厚いおもてなしをして下さいました。



ソウルは高層アパート建築ラッシュ。韓国は地震がありません。



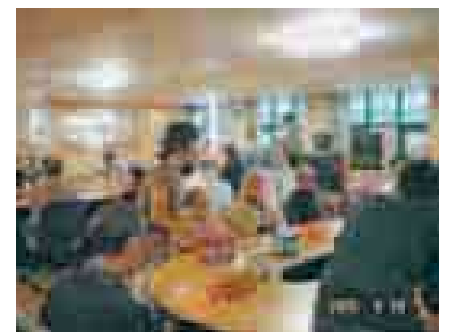
一松学院社会福祉委員会委員長を前に緊張気味の団長。



パソコンルーム  
パソコンはすべてマイクロソフト社からの寄贈です。



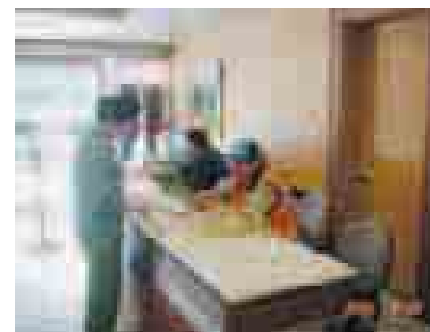
バスルーム  
韓国の入浴は主にシャワーです。



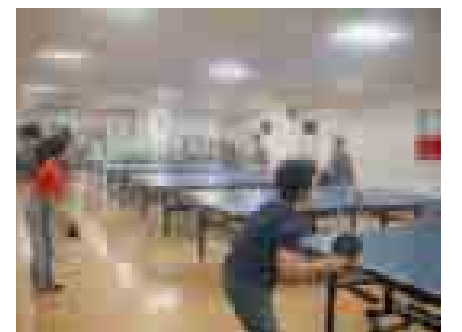
認知症専門のデイサービス。  
毎日通所できます。



移動入浴  
入浴車の中にリフトが装備されています。



福祉館の案内デスクではボランティアが活躍。



ヘルスパ  
卓球から囲碁まで、健康推進事業の一環です。





施設だより

# 「私の宝もの」

各施設のみなさんのついでにお話をご紹介します。

## かんだ連雀

### 共に歩んで80年

皆さんは、これだ！という宝物をお持ちですか？

先日、誕生日を迎えられ、かんだ連雀一の御長寿となったSさま。Sさまはいつもとても大事そうに時計を持たれています。それは八ガキサイズの置き時計。「これがないと何も分からない。」と、この時計で今は何時かと度々ご覧になられています。夜勤中も居室を覗くと時計を抱いて眠られていることもしばしば。話を伺うと、「この時計は結婚したときに銀座の時計店で買ったものなの」と、懐かし気に語られました。その時から恐らく80年近くSさまと一緒に過ごし、様々な時代を見届けてきた時計。まさに共に時を刻んできたのですね。

今、何気なく使っている身の回りの物も、もしかしたら、これから先何十年か経ってみると自分にとって、なくてはならない宝物になっていることがあるかもしれません。そんな風に思うと、今使っている物も、もう少し大事に扱おうという気持ちにさせてくれるのです。

(介護員 鈴木紀子)



## 社会福祉法人の重要性とその役割

多摩同胞会理事 相羽孝昭

日本はたしかに豊かになりましたが、経済的な困難、心身の障害、事故や病気、老齢などのために生活に支障を来たす人たち（要援護者）はある割合で常に存在します。それどころか近年は、都市化、核家族化、経済の低迷などにより、ホームレスも生活保護を受けている人も増えています。このような人に援助の手を差し延べるのが本来の社会福祉事業であって、憲法第25条に則って、措置制度により国に代わって戦後一貫してこれを担ってきたのが、社会福祉法人であります。

高齢者人口の増大と介護保険制度の導入とともに社会福祉基礎構造改革が叫ばれ、社会福祉の世界に競争原理が導入され、たくさんの民間の営利企業が社会福祉の業界に参入してきました。措置から契約と言われ、サービスが売りに買いの対象になり、市場原理に基づいてサービスが提供されると、どうしても「お金の論理」が優先されます。

また、自己責任が問われるようになりましたから、しつかりした家族がいてお金のある人は選択の自由度も多くなり、それなりに不安のない豊かな生活が送れますが、逆に家族にもお金にも恵まれない人は、選択の幅も狭くなり、申請を忘れたりすると、必要なサービスも受けられないことも起こってきて

います。すなわち、サービス提供業者が増えて一般的には便利になったと同時に、本来の社会福祉事業の対象である要援護者にとってはつらいことが起こりつつあります。競争原理によりサービスの質が向上すると信じている人たちが政治を動かしていることで、この傾向はますます強まりそうです。

さらに、首相の諮問機関である規制改革・民間開放推進会議は、「福祉という官製市場を民間に開放せよ」、「社会福祉法人とそれ以外の経営主体との間の競争条件を均等化（イコールフットイング）せよ」と声高に叫び、中には「社会福祉法人は時代おくれだ」という人まで出てきています。

しかし、要援護者を対象とした本来の社会福祉事業は、市場も形成せず、利潤も生まないので、国の援助なしにはやっていくことができません。優遇税制とか設備投資や施設整備への公的補助が撤廃されたら、多くの社会福祉法人は、要援護者に対する事業をつづけることは困難になります。そうなれば、これまでサービスの提供を受けてきた要援護者は、どうなるのでしょうか。

言うまでもなく、要援護者に対する援助は社会福祉の原点であります。その原点を守っている社会福祉法人の存在価値をぜひご理解いただきたい。「官製市場の民間開放」という甘い言葉に惑わされ、本来国の責任である要援護者の援護という責任を国が放棄しないように十分に監視しなければなりません。

## きずな

### 秘密基地について！

重いランドセルに急な坂道に宿題……ちよつとの我慢は、きずな学童の毎日の光景です。

そんなお決まりから解放された子どもたちは目をキラキラさせて、「秘密基地についてー」

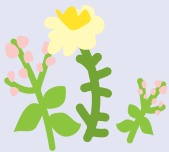
まるで合言葉のようについに残すと、風のよつとに走っていきまふ。施設から外に出るときは行き先を言うついでに「と口をすっぱくして言っているの、何も言わずに行くことはできません。でも内緒の場所……子どもたちの葛藤が「秘密基地」には詰まっています。職員としては行き先が「秘密基地」では困ってしまいますが、まあ、言うだけはいか。こちらでも葛藤をしながら、子どもに直接は聞かずに大体の場所をつかんでひと安心。しかし「週間もするよ」、「第2秘密基地についてー」

あ、やつと第1秘密基地がわかったの……そこへ、「上のほうの秘密基地についてー」

あらら。安全管理上、行き先は知っておきたい職員の思惑など知る由もなく、数を増やす秘密基地と職員リサーチのいたちがいつか、たのしいつれい秘密を守ってやりたいう気持ちから今日もまた、「秘密基地についてー」

「秘密基地についてー」といつかはググッと飲み込んで「気を付けてね」と見送ります。

(少年指導員 若林佑子)



## 社会福祉法人多摩同胞会 職員研修レポート

～高い理念を持った強い法人を目指そう～

平成12年に介護保険が施行され、法人内でも制度をより理解するための研修がたびたび行なわれました。介護保険施行当初は制度の概要を中心に、問題点などを確認しました。しかし、今回の研修はこれまでとは違いました。職員が皆、「高い理念を持った強い法人を目指そう」という言葉を胸に深く刻んで「自分達が頑張らないと」と真剣に話を聞いていました。静まり返ったホール内である職員は熱心にメモを取り、またある職員は一つ一つの言葉に傾き、耳を傾けていました。

(緑苑 伊藤賢司)





たっち

泣く子も黙る!?  
くるくる  
スロープ

リフレッシュ保育は、利用される方も増えて、子どもの遊ぶ声や泣き声が館内に聞こえます。初めて母親と離れた2歳前の乳児は大泣きし、他の子ども達が遊び出せないこともあります。

不安や緊張いっぱいの子ども達が初めに興味を示すのが木製のおもちゃ「くるくるスロープ」です。ボールと車が、長いスロープを勢い良くカタカタと滑り落ちる様子は、子どもも大人も夢中になるほどです。それまで、泣いていた子どもも不安で遊ぶ気分になれなかった子ども「くるくるスロープ」のボールに夢中になり保育士の抱っこから離れ、少し笑顔になって遊び出します。

「さあ〜今日も泣いているお友達を笑顔にさせるぞお!!」そんな声がスロープから聞こえてくるようです。(笑)

(保育士 嶋田)

歩)

\*リフレッシュ保育  
一時保育事業のこと。  
1歳以上のお子さんを1日4時間までお預かりします。(予約制)



岩本町

気分は女学生!?

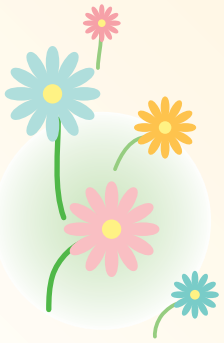
「今アルバム見てたのよ。」  
お部屋をのぞくと笑顔とともに楽しそうな声が返ってきます。

ご利用者Aさんと気の合うBさん。時間を見つけてはお二人でアルバムをひろげ、お煎餅をかじりながら昔話に花が咲いています。「このころはねえ...」Aさんの解説つきでアルバムをめくると、昭和初期の学校の様子、第二次大戦当時、またその後の様子などうかがい知ることが出来ます。ご近所の仲良しだった幼なじみや親しくしていた人の話をとても温かくされるAさん。アルバムは大事な宝物です。

グループホームのご利用者には皆それぞれ宝物があります。ご家族・ご兄弟の思い出、大好きな踊り、女学校時代からのご友人、たまらなくかわいいお孫さん等々。

それぞれの宝物を温めながら過ごしていただけたらなあと思う毎日です。

(介護員 黒淵 智子)



あさひ苑

私を映す鏡

ホームで生活されているご利用者の皆さんには、それぞれ大切にされている物が様々あるようです。Tさんは毎日手鏡を見てニッコリと笑顔を浮かべています。大切な鏡を見て髪を整え紅を差します。紅を差す時の顔は普段見せないほどの色っぽいTさんがうかがえます。

若い頃から化粧をするのが大好きで、仕事や買い物はもちろんデートの際もしっかりメイクを決め、手鏡を持って出掛けたそうです。Tさんは鏡に映る自分を見て「いつまでも女性らしくキレイでいたい」と話されます。そんな気持ちを私は同じ女性として大切にしたいと思います。

この先もずっとその気持ちを忘れずにTさんにとって手鏡は宝物であって欲しいと思います。



(介護員 鈴木淳子)

泉苑

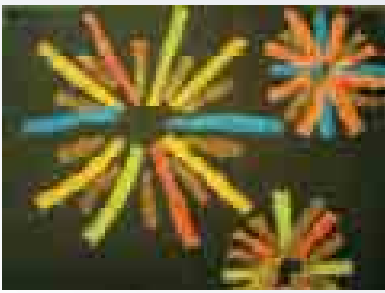
「二本のビデオテープ」

デイサービスでは毎月ご利用者の声をもとに映画上映会を行っています。好きな監督や俳優、懐かしい時代の映像など多数ご希望が寄せられる中、夏の終り頃「隅田川花火大会」を上映し、夏の風物詩を楽しんでいたいただきました。上映中ご利用者の表情を見て、亡き父を思い出していました。

私には大切な一本のビデオテープがあります。十数年前、某テレビ局の「京王沿線の職人さん」という番組で花火師の父が取り上げられました。背中に「煙火」と染めの入ったハンテンをはおり、次々と打ち上げられる花火の下をかけずり回る父の姿。亡き父が健在であれば八十一歳、ご利用者の皆様の仲間入りをして花火談議をしているのでは...

ビデオテープの中の父が私の宝物であるように、『泉苑 ならではの宝物』を活動を通してご利用者に見つけていただけたらと思います。

(介護員 城所幸江)



緑苑

「・・・」

緑苑最高齢のMさん(101歳)に「宝物はありますか?」と、お聞きすると思ってもよらない答えが返ってきました。

「お・か・ねー!」  
「お金?」と思わず聞き返してしまいました。その理由を聞いて納得。Mさんのお話では「私はね、果物が大好きなの!でもね、自分では買に行けないのよ。だから、いつもここ(緑苑)に来る八百屋さんお待ち遠しくて仕方がないの。おいしいのよ!果物」と満面の笑みで教えてくれました。

100歳を超えて尚、自分でお小遣いの管理をし、生活の中に楽しみを持っているMさんの一面に尊敬し、思わず私の何十年後を想像してしまったひとときでした。

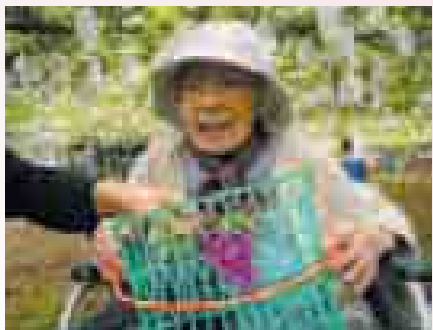
今の

私の

宝物は

「・・・」。

(介護員 伊藤賢司)



しらとり

サッカー選手  
来寮

10月5日(水)午後、しらとりにFC東京の阿部選手、鈴木選手、前田選手が遊びに来てくれました。自己紹介では、恥ずかしがっている子どももいましたが、おやつ時には打ち解け、選手達と楽しい時間を過ごせました。リフティングを披露してもらい、プロサッカー選手の華麗なプレーに子ども達もびっくり!

その後、子ども達がボールを奪うのにチャレンジ。一人、二人ではまったくボールに触れられなかったのですが、三人の協力プレーで選手からボールを取ることができました。

最後にサインをもらい、記念撮影ももらったサインと写真は、子ども達の宝物になったことでしょう。

(少年指導員 加藤 卓)



### ボランティア紹介

わたちの交流ひろばでは、毎日11時と14時にスポットタイムという時間があります。「親子でふれ合える時間の提供」「地域交流の場」を目的に手遊び、歌遊びやふれあい遊び、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、製作などいろいろなメニューで、毎日親子を楽しませています。

ここでのボランティアは、特技を生かし、子どもたちが笑顔で見守る中、読み聞かせをしたり、折り紙を教えたリ、得意な楽器を披露します。日によつては100人近くの親子が注目する前で行うこともあり、みなさんドキドキしながらがんばっています。「かわい子どもたちと一緒にいられることが幸せでとても楽しかった」とボランティアの日数を増やしてくださった方もいらつしやいます。始まったばかりの事業ですが、自然な形でボランティアと親子のふれあいができるようしていきたいと思ひます。

(森下美香)



今日は折り紙のボランティアさん。活気に満ちたひろばです。

### 御寄贈ありがとうございます(敬称略)

相馬隆介 あかしや会 秋山酒店 浅川春己 朝日新聞厚生文化事業団野崎 足立屋 池城安俊 池田貞次 伊集院兼大 井踏世津子 入澤直子 有限会社栄光社 大内商事 岡田悦臣 緒方シゲ子 小倉妙子 小澤米子 花王㈱コーポレートコミュニティケーション部門社会貢献部 金子商店 河村廣 北原青果 窪田一郎 久保田摩耶子 栗林正昭 来栖明美 小島ユミ子 小藤東洋 兼坂駒紀友花会 小山満里子 近藤宏 (財)資生堂 社会福祉事業財団 橋敦子 佐伯和美 佐伯和義 坂本文子 佐藤富子 佐藤保信 眞田文彦 塩川義雄 柴田光夫 嶋田慶子 清水彌太郎 十全交通㈱ 松栄亭 白倉医院 新日本石油 ㈱広報部宣伝グループ大場 新日本石油㈱広報部宣伝グループ 佐藤 菅澤和彦 鈴木しづか 鈴木芳子 須藤光忠 浅間町婦人会 高砂会 辰野貞子 坪井京子 寺島昌子 東京食肉生活衛生組合 社会福祉法人東京都共同募金会 東京都食肉生活衛生同業組合村野 社会福祉法人東京福祉会 東宝シネマズ府中 ナーセリーあんどろ 永上貴美子 中田龍佑 ㈱NP代表取締役社長永田芳男 中野孝彦 名取学 西町会 西原町自治会 白鷗舎 箸勝本店 原田八百屋 比留間敏夫 藤田富治郎 府中市生活文化部 府中手づくりおもちゃの会 星光彦 ㈱ポリシイサーカス マイクロソフト㈱ 増田純孝 増山光快 松井洋治 三鷹市役所子育て支援室川嶋 三鷹市役所子育て支援室田代 緑町3丁目自治会 緑町自治会 緑町睦月会 三輪武志 武蔵台3丁目会長村山繁太郎 武蔵台小学校長芳賀一郎 武蔵台文化センター圏域コミュニティ協議会 むさしの会 村井君 望月友子 山内俊子 山崎清子 山下栄子 山田眞紀子 有鄰齒科佐藤保信 弓削田恵美子 ユニチャームメンリツケ 緑寿会

相川嘉代子 会田久枝 青山幸子 赤田美恵子 赤林好子 秋本由美 秋山恵美子 浅見スミ子 網代恵美 阿部才千代 新井 飯塚喜彦 飯田アヤ子 井口イマ 池田奏 池田靖邦 石井宏 石井まち子 石黒富佐江 石坂勝世 和泉小ビツグバンド 板橋元子 市川アイ子 市川明子 一木チドリ 井踏世津子 伊藤浜子 伊東富美子 井上和子 村上節 井上宏子 井上令子 井下一将 上田悦子 上野玲子 上原智美 鶴沢しず 梅沢佳代子 江口重津子 遠藤伊代 遠藤裕子 遠藤博 遠藤みつよ 遠藤陽子 大石和子 大木正枝 大久保峯子 大倉弘子 太田貴美江 大西妙子 小笠原敦子 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 岡美奈子 小川喜代子 小川盛男 萩野和子 萩野博 萩村光恵 萩原八枝 小倉薫子 小倉道子 尾崎節子 尾崎ヨシ子 小澤末子 押切孝 恩田猛 海江田紀久子 覚張千代 梶田慶子 鹿島千重子 片桐キミ子 片山千代子 加藤静 加藤正 加藤まき 加藤美枝子 加藤モト子 角谷麻水 金澤静江 上沢美知子 亀岡紀知信 唐沢典子 河内ヒサ 川崎綾子 川崎和代 川崎恵 河田響子 川西那奈 神藤美根子 木いちごの会 菊池けさ 北邑ヒデア子 北村三枝 城所栄子 木下照子 木村伊都子 木村幸子 木村直子 日下部恭子 草野美鈴 久保田摩耶子 熊倉洋子 弦楽シニアアンサンブル 弦野まさ 小泉純子 小出由美子 小岩井雅人 河野トシヨ 小坂緑 小島裕子 小島百合子 小雀会 小谷文子 兒玉宏之 兒玉美恵子 後藤寿枝 小場いゑ子 小林久子 小柳シズエ 小山満里子 紺野和子 今野幸子 斉藤和子 斉藤孝子 酒井敏子 酒井美喜子 坂本越子 佐々木和子 佐々木八重子 佐滝弘美 佐藤好一 佐藤なか子 佐藤初江 佐野田鶴子 椎名高大 塩澤佳津子 塩野彰 塩野あゆみ 志賀百恵 重田文子 品田啓子 篠原千奈 芝喜久子 島津弘子 清水文枝 下江美鈴 白石幸治 白石とみ子 進藤サエ子 進藤理子 新屋典子 鈴木チエ子 鈴木千代子 鈴木真麻 鈴木昌子 鈴木嘉子 角田ミサホ 瀬戸貞子 瀬下和宏 藪田澄子 高島米子 高瀬由利枝 高田道敏 高鍋恵子 鷹野栄子 高野晴美 高野睦子 高橋幸子 高橋ちよ子 田口稔子 武井一枝

### ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称略)

相川嘉代子 会田久枝 青山幸子 赤田美恵子 赤林好子 秋本由美 秋山恵美子 浅見スミ子 網代恵美 阿部才千代 新井 飯塚喜彦 飯田アヤ子 井口イマ 池田奏 池田靖邦 石井宏 石井まち子 石黒富佐江 石坂勝世 和泉小ビツグバンド 板橋元子 市川アイ子 市川明子 一木チドリ 井踏世津子 伊藤浜子 伊東富美子 井上和子 村上節 井上宏子 井上令子 井下一将 上田悦子 上野玲子 上原智美 鶴沢しず 梅沢佳代子 江口重津子 遠藤伊代 遠藤裕子 遠藤博 遠藤みつよ 遠藤陽子 大石和子 大木正枝 大久保峯子 大倉弘子 太田貴美江 大西妙子 小笠原敦子 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 岡美奈子 小川喜代子 小川盛男 萩野和子 萩野博 萩村光恵 萩原八枝 小倉薫子 小倉道子 尾崎節子 尾崎ヨシ子 小澤末子 押切孝 恩田猛 海江田紀久子 覚張千代 梶田慶子 鹿島千重子 片桐キミ子 片山千代子 加藤静 加藤正 加藤まき 加藤美枝子 加藤モト子 角谷麻水 金澤静江 上沢美知子 亀岡紀知信 唐沢典子 河内ヒサ 川崎綾子 川崎和代 川崎恵 河田響子 川西那奈 神藤美根子 木いちごの会 菊池けさ 北邑ヒデア子 北村三枝 城所栄子 木下照子 木村伊都子 木村幸子 木村直子 日下部恭子 草野美鈴 久保田摩耶子 熊倉洋子 弦楽シニアアンサンブル 弦野まさ 小泉純子 小出由美子 小岩井雅人 河野トシヨ 小坂緑 小島裕子 小島百合子 小雀会 小谷文子 兒玉宏之 兒玉美恵子 後藤寿枝 小場いゑ子 小林久子 小柳シズエ 小山満里子 紺野和子 今野幸子 斉藤和子 斉藤孝子 酒井敏子 酒井美喜子 坂本越子 佐々木和子 佐々木八重子 佐滝弘美 佐藤好一 佐藤なか子 佐藤初江 佐野田鶴子 椎名高大 塩澤佳津子 塩野彰 塩野あゆみ 志賀百恵 重田文子 品田啓子 篠原千奈 芝喜久子 島津弘子 清水文枝 下江美鈴 白石幸治 白石とみ子 進藤サエ子 進藤理子 新屋典子 鈴木チエ子 鈴木千代子 鈴木真麻 鈴木昌子 鈴木嘉子 角田ミサホ 瀬戸貞子 瀬下和宏 藪田澄子 高島米子 高瀬由利枝 高田道敏 高鍋恵子 鷹野栄子 高野晴美 高野睦子 高橋幸子 高橋ちよ子 田口稔子 武井一枝

竹内砂恵子 竹内範子 竹内由美子 竹松ふく 辰本ケイ子 立石絵里香 田中久美子 田中美智子 田中光江 田中翠 谷口信子 玉井栄子 千葉よし ちよだ演芸座 千代田区老人会 辻輝子 辻ナカ子 土屋とき枝 角田和歌子 津波夏林 手塚正輝 東樹クニエ 徳永桃子 豊島町会お囃子 内藤 中井啓子 中山康 中澤キミ子 中下秀子 中嶋永子 長島広美 中田愛子 永野信子 中浜勉 中村清美 中村フサ子 中村真伊子 中村美佐江 奈須静江 二家貞子 新津好美 二重作 トヨ子 西木操 西澤弘正 西宮智恵子 二宮澄子 野坂昭弘 萩原春代 橋口綾子 橋本貞子 長谷川宣子 羽鳥みのる NPO法人花咲き村 花沢浩子 丹生初江 パネルシアターサークルピノキオ 早川洋子 早川桂男 羽山直子 原田きよ 原田康子 パレストスタジオフィレット 肥後住江 西久保長子 平井 平井敦子 平泉順子 平澤みどり 平田麻子 平山房 福岡恵利子 福島シマ 藤原顕太 船岡栄子 フラメンコ・ベラーノ 文京学院大学 法師人富子 堀切重明 堀佐和子 牧内ヤス子 牧野新子 町田真知子 松井万里 松浦良枝 松沢佳代子 松澤通子 松下朗 松下朋子 松田恵子 松土珠美子 松野アイ 松原優子 松村潤子 松本健二 マナフリレイカフラスタジオ 原野篤子 水谷静枝 水野智恵 水美智子 溝口龍太郎 三井喜久江 皆川朋子 三溝久枝 宮崎美智子 宮澤由紀枝 宮下美智子 明神よし恵 明神れい子 三輪孝子 室悦子 茂木万里子 望月友子 本橋直人 盛田光代 守永朋子 森未来 谷貝祥子 矢ヶ崎綾子 八木かつ子 安川淑子 安田敬子 安田恵 谷田部末子 山上涼子 山田一丸 山田佳津江 山田喜美江 山田ケイ子 山田サワ子 山田シズ 山田順子 山本ひろみ 山本峯子 弓削田恵美子 横田ソツ 奥座京子 吉田ヒサ子 吉田陸子 米沢明子 米山君子 米山秀子 奥良正隆 ろうどくボラ 六中吹奏楽 脇山令子 和久井ミサ 渡辺勇 渡辺キク 渡辺喬子 渡辺たづ子 渡辺秀子

(平成17年6月~9月)

(平成17年6月~9月)

特別養護老人ホーム 信愛泉苑  
 高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター  
 養護老人ホーム 信愛寮  
 特別養護老人ホーム 信愛緑苑  
 府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑  
 府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター  
 府中市子ども家庭支援センター たっち

特別養護老人ホーム かんだ連雀  
 かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター  
 千代田区立岩本町はほえみプラザ  
 子ども家庭支援センター しらとり  
 母子生活支援施設 白鳥寮  
 母子生活支援施設 東京都網代ホームきずな

